

# 地球温暖化対策実行計画 (第四次)

令和元年度報告書

袖ヶ浦市  
(環境管理課)

## 目 次

|   |                         |    |
|---|-------------------------|----|
| 1 | はじめに                    | 1  |
| 2 | 計画の概要                   | 1  |
|   | ＜排出係数一覧表＞               | 2  |
| 3 | 温室効果ガス排出状況              | 3  |
|   | (1) 年度別温室効果ガス総排出量       | 3  |
|   | (2) 排出項目別温室効果ガスの排出量     | 3  |
| 4 | 部門別温室効果ガスの排出量           | 9  |
|   | (1) 企画財政部               | 10 |
|   | (2) 総務部                 | 10 |
|   | (3) 市民健康部               | 10 |
|   | (4) 福祉部                 | 11 |
|   | (5) 環境経済部               | 11 |
|   | (6) 都市建設部               | 12 |
|   | (7) 教育部                 | 13 |
|   | (8) 水道局                 | 13 |
|   | (9) 消防機関                | 14 |
|   | (10) その他（議会事務局、農業委員会ほか） | 14 |
| 5 | 評価                      | 15 |
| 6 | おわりに                    | 17 |
|   | 資料＜対象施設一覧表＞             | 18 |

# 1 はじめに

市役所はその職員数や事業規模が大きい事業体であり、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき地球温暖化対策実行計画の策定義務があることから、自らの事務事業に伴って排出される温室効果ガスの排出量を率先して抑制することにより、地域の温室効果ガスの実質的な排出抑制を図るとともに、市民・事業者の行う地球温暖化防止に向けての自主的な取り組みを促進することを目的に、平成13年3月に「袖ヶ浦市地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

その後、温暖化対策に関する国内外の状況の変化や市の施設の新設もあったことから、平成20年1月に第二次計画、平成25年3月に第三次計画、平成29年3月に第四次計画を策定しました。

本報告書は、令和元年度における温室効果ガス排出量を算定し、基準排出年度（平成27年度）の排出量と比較して達成度を報告するものであり、今回は、第四次計画の3回目の報告となります。

## 2 計画の概要

### （１）基準年度と計画期間

平成27年度を基準年度とし、平成29年度から令和3年度までの5年間を計画期間としています。

### （２）計画の範囲

本計画では、全ての市有施設（P.18～P.19〈対象施設一覧〉を参照）を計画の範囲とし、全ての事務事業を対象としています。ただし、委託等により管理するものを除きます。

### （３）対象となる温室効果ガス

地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第3項で対象となるものは以下の7種のうち、本市の事務及び事業において対象となる活動が無いパーフルオロカーボン（PFC）、六ふっ化硫黄（SF6）、三ふっ化窒素（NF3）を除いた二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）、メタン（CH<sub>4</sub>）、一酸化二窒素（N<sub>2</sub>O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）の4種を対象とします。

### （４）目標値の設定

令和3年度までに平成27年度比で**マイナス6%**を目標としています。

（基準値：10,144,250.0 kg-CO<sub>2</sub>、目標値：9,535,595 kg-CO<sub>2</sub>）

### （５）温室効果ガス排出量の算定に用いる排出係数

地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第3条において、温室効果ガス総排出量に係る温室効果ガスの排出量の算定方法、及び排出係数が決められています。

しかし、計画策定後に法律の改正による排出係数の変更があった場合、年度ごとの取組成果の比較を正確にできないことから、本市の年次報告では、基準年度（平成27年度）の排出係数（平成27年11月30日公表）を一貫して用いることで、整合性を確保しています。

排出係数一覧表 （温室効果ガス排出量を算出するために、活動項目毎で使用する係数）

| 活動項目                   | 排出ガス | 報告単位           | 排出係数<br>(H27年11月30日公表) |
|------------------------|------|----------------|------------------------|
| ガソリン                   | CO2  | L              | 2. 32                  |
| 灯油                     | CO2  | L              | 2. 49                  |
| 軽油                     | CO2  | L              | 2. 58                  |
| A重油                    | CO2  | L              | 2. 71                  |
| 液化石油ガス(LPG)            | CO2  | kg             | 3. 00                  |
| 都市ガス                   | CO2  | m <sup>3</sup> | 2. 23                  |
| 電気使用量                  | CO2  | kWh            | 0. 505                 |
| 普通・小型自動車走行量（ガソリン・LPG等） | CH4  | km             | 0. 00001               |
|                        | N2O  |                | 0. 000029              |
| 軽自動車走行量（ガソリン・LNG）      | CH4  | km             | 0. 00001               |
|                        | N2O  |                | 0. 000022              |
| 普通貨物車走行量（ガソリン・LNG）     | CH4  | km             | 0. 000035              |
|                        | N2O  |                | 0. 000039              |
| 小型貨物車走行量（ガソリン・LNG）     | CH4  | km             | 0. 000015              |
|                        | N2O  |                | 0. 000026              |
| 軽貨物車走行量（ガソリン・LNG）      | CH4  | km             | 0. 000011              |
|                        | N2O  |                | 0. 000022              |
| 特殊用途車走行量（ガソリン・LNG）     | CH4  | km             | 0. 000035              |
|                        | N2O  |                | 0. 000035              |
| 普通・小型自動車走行量（軽油）        | CH4  | km             | 0. 000002              |
|                        | N2O  |                | 0. 000007              |
| 普通貨物車走行量（軽油）           | CH4  | km             | 0. 000015              |
|                        | N2O  |                | 0. 000014              |
| 小型貨物車走行量（軽油）           | CH4  | km             | 0. 0000076             |
|                        | N2O  |                | 0. 000009              |
| 特殊用途車走行量（軽油）           | CH4  | km             | 0. 000013              |
|                        | N2O  |                | 0. 000025              |
| 封入カーエアコンの使用(年間)        | HFC  | 台              | 0. 01                  |
| 一般廃棄物焼却量（全量・連続）※       | CH4  | t              | 0. 077                 |
|                        | N2O  |                | 0. 0539                |
| 下水処理量                  | CH4  | m <sup>3</sup> | 0. 00088               |
|                        | N2O  |                | 0. 00016               |
| ディーゼル機関(定置式)における軽油使用量  | N2O  | L              | 0. 000064              |
| ディーゼル機関(定置式)におけるA重油使用量 | N2O  | L              | 0. 000066              |
| 汚泥焼却量(し尿・公下・集排) ※      | CH4  | t              | 0. 0097                |
|                        | N2O  |                | 1. 09                  |

※現在、市の施設では焼却を行っていない。

### 温室効果ガス排出量の算定方法

温室効果ガス総排出量 ＝ 活動量 × 排出係数 × 地球温暖化係数

※地球温暖化係数

【CO2=1 CH4=25 N2O=298 HFC=1430】

### 3 温室効果ガス排出状況

#### (1) 年度別温室効果ガス総排出量

令和元年度の市役所全体における温室効果ガス総排出量は8,997,638.9 kg-CO<sub>2</sub>で、平成27年度（基準値）：10,144,250.0 kg-CO<sub>2</sub>と比較して-1,146,609.9 kg-CO<sub>2</sub>（-11.30%）と減少しています。しかしながら、温室効果ガス総排出量が減少した主な要因は、水道事業の統合によるものであり、平成27年度（基準値）の排出量算定の対象施設から水道局が維持・管理している施設等を除外して算出した値と令和元年度の値を比較すると、202,037.0 kg-CO<sub>2</sub>（2.30%）と増加しています。

年度別温室効果ガス総排出量

（単位：kg-CO<sub>2</sub>）

| 区 分            | 平成27年度<br>（基準値）      | 平成29年度       | 平成30年度       | 令和元年度       | 令和2年度 | 令和3年度 |
|----------------|----------------------|--------------|--------------|-------------|-------|-------|
| 温室効果ガス<br>総排出量 | 【※1】<br>10,144,250.0 | 10,373,994.3 | 10,493,820.1 | 8,997,638.9 | -     | -     |
| 基準年度に対する増減率    | —                    | +2.26%       | +3.45%       | -11.30%     | -%    | -%    |

#### (2) 排出項目別温室効果ガスの排出量

##### ア 全体

項目（要因）別温室効果ガス排出量（CO<sub>2</sub>換算値）

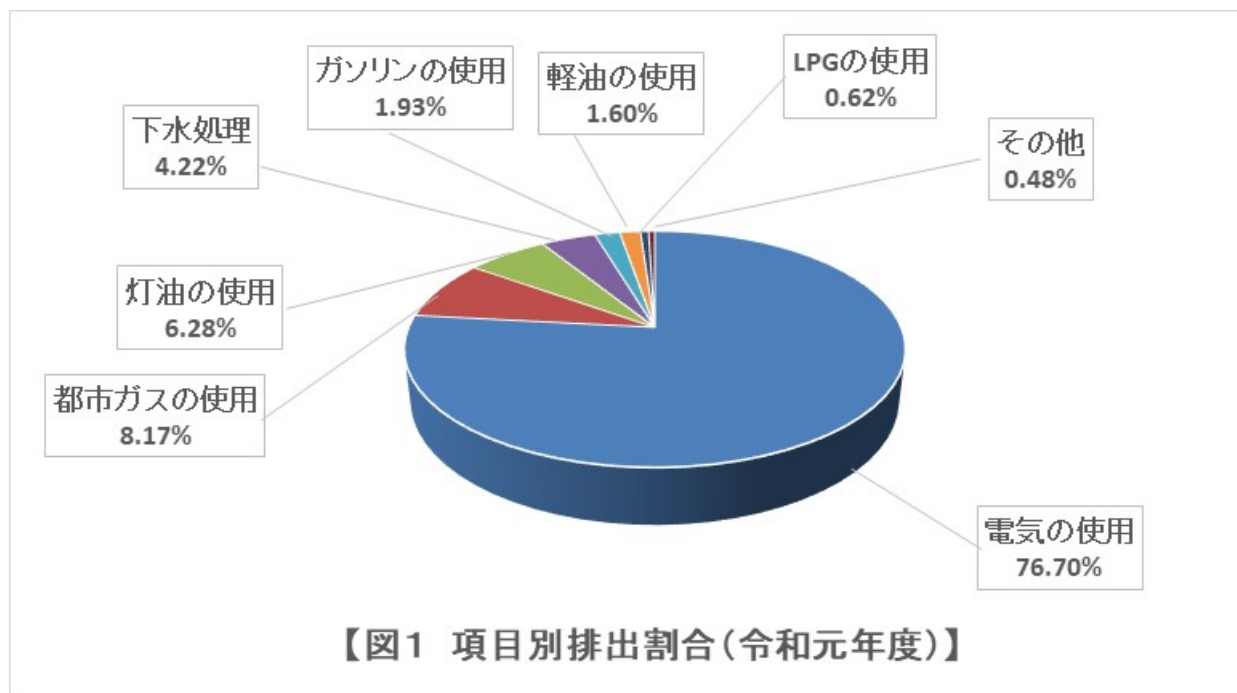
（単位：kg-CO<sub>2</sub>）

| 項 目（ 要 因 ）   | 令和元年度       | 平成27年度<br>（基準年度） | 基準年度との差      | 増減率<br>（%） |
|--------------|-------------|------------------|--------------|------------|
| 電気の使用        | 6,901,452.6 | 7,965,756.5      | -1,064,303.9 | -13.36     |
| 都市ガスの使用      | 734,686.9   | 703,601.0        | 31,085.9     | 4.42       |
| 灯油の使用        | 564,933.1   | 618,557.1        | -53,624.0    | -8.67      |
| 下水処理         | 379,481.2   | 368,447.0        | 11,034.2     | 2.99       |
| ガソリンの使用      | 173,995.1   | 216,069.6        | -42,074.5    | -19.47     |
| 軽油の使用        | 143,998.7   | 147,147.2        | -3,148.5     | -2.14      |
| LPGの使用       | 55,838.7    | 81,651.6         | -25,812.9    | -31.61     |
| 自動車の走行       | 8,207.2     | 9,326.2          | -1,119.0     | -12.00     |
| A重油の使用       | 34,986.1    | 33,441.4         | 1,544.7      | 4.62       |
| ディーゼル機関（定置式） | 59.3        | 251.2            | -191.9       | -76.39     |
| 合計           | 8,997,638.9 | 【※2】10,144,248.8 | -1,146,609.9 | -11.30     |
| （参考）電気の使用以外  | 2,096,186.3 | 2,178,492.3      | -82,306.0    | -3.78      |

基準年度以降では、平成31年4月1日の水道事業の統合に伴い、温室効果ガス排出量の増減に直結する施設の減少があり、電気の使用等による排出量が大幅に減少していますが、A重油、都市ガスの使用や下水処理による排出量は増加しています。なお、電気の使用を除いた排出量の合計は3.78%減少しています。

温室効果ガス排出量全体に対する各項目の排出量の割合のグラフを【図1】のとおり示します。

【※1】基準値及び【※2】基準年度合計の数値が異なりますが、これは基準値が基準年度（平成27年度）実績の数値を四捨五入したもので設定されているためです。



## イ 電気

部門別電気使用による温室効果ガス排出量

(単位:kg-CO<sub>2</sub>)

| 部 門   | 令和元年度       | 平成27年度<br>(基準年度) | 基準年度との<br>差  | 主な排出源           |
|-------|-------------|------------------|--------------|-----------------|
| 企画財政部 | 0.0         | 0.0              | 0.0          | なし              |
| 総務部   | 553,526.5   | 559,606.7        | -6,080.2     | 庁舎              |
| 市民健康部 | 930,584.8   | 933,683.9        | -3,099.1     | 健康づくり支援センター、防犯灯 |
| 福祉部   | 211,726.0   | 207,378.4        | 4,347.6      | 保育所             |
| 環境経済部 | 570,560.8   | 587,156.9        | -16,596.1    | ごみ処理施設、ゆりの里     |
| 都市建設部 | 2,040,486.7 | 1,932,479.1      | 108,007.6    | 終末処理場、公園、道路照明   |
| 教育部   | 2,394,630.8 | 2,224,536.0      | 170,094.8    | 臨海スポーツセンター、小中学校 |
| 水道局   | 0.0         | 1,339,957.4      | -1,339,957.4 | 浄水場、配水場、揚水機場    |
| 消防機関  | 199,937.0   | 180,958.1        | 18,978.9     | 各消防署            |
| その他   | 0.0         | 0.0              | 0.0          | なし              |
| 合計    | 6,901,452.6 | 7,965,756.5      | -1,064,303.9 | 増減率 -13.36%     |

冷・暖房、照明、パソコン等の事務機器、機械動力など幅広く使用されています。

市の施設全体の温室効果ガス排出量の項目別では、電気の使用によるものが最も多く、本計画の基準年度である平成27年度において排出量全体の約8割を占めており、電気使用量の削減を進めることが効果的です。

近年、電気の使用については、増加傾向にありますが、令和元年度においては、水道事業の統合に伴う対象施設の減少や、ゆりの里における売り場の照明、防犯灯のLED化などにより、電気の使用による温室効果ガス排出量は、平成27年度と比較して13.36%の減少となっています。

## ウ 都市ガス

部門別都市ガス使用による温室効果ガス排出量

(単位:kg-CO2)

| 部 門   | 令和元年度     | 平成27年度<br>(基準年度) | 基準年度との<br>差 | 主な排出源         |
|-------|-----------|------------------|-------------|---------------|
| 総務部   | 49,976.5  | 66,777.4         | -16,800.9   | 庁舎            |
| 市民健康部 | 11,419.8  | 7,666.7          | 3,753.1     | 保健センター        |
| 福祉部   | 4,176.8   | 4,299.4          | -122.6      | 保育所           |
| 環境経済部 | 189.6     | 252.0            | -62.4       | クリーンセンター管理棟   |
| 教育部   | 654,594.2 | 612,884.6        | 41,709.6    | 学校給食センター、小中学校 |
| 消防機関  | 14,330.0  | 11,720.9         | 2,610.0     | 中央消防署         |
| 合計    | 734,686.9 | 703,601.0        | 31,085.9    | 増減率 +4.42%    |

冷・暖房、給湯用、調理用の燃料として使用されています。

最も多く使用しているのは学校給食センターで、使用量は全体の約5割を占めております。

令和元年度の都市ガスの使用による温室効果ガス排出量は、学校給食センターや保健センターにおける使用などが増えたため、平成27年度と比較して4.42%の増加となっています。

なお、市庁舎においては、都市ガスの使用量が減少していますが、これは7階の都市ガスエアコンを電気式のエアコンに更新したことなどが考えられます。

## エ 灯油

部門別灯油使用による温室効果ガス排出量

(単位:kg-CO2)

| 部 門   | 令和元年度     | 平成27年度<br>(基準年度) | 基準年度との<br>差 | 主な排出源           |
|-------|-----------|------------------|-------------|-----------------|
| 総務部   | 0.0       | 0.0              | 0.0         | 庁舎              |
| 福祉部   | 14,564.0  | 18,084.6         | -3,520.6    | 保育所、福祉作業所       |
| 環境経済部 | 386.2     | 0.0              | 386.2       | 農業センター、農村公園     |
| 都市建設部 | 0.0       | 149.4            | -149.4      | 公園管理事務所         |
| 教育部   | 549,982.9 | 600,323.1        | -50,340.2   | 臨海スポーツセンター、小中学校 |
| 合計    | 564,933.1 | 618,557.1        | -53,624.0   | 増減率 -8.67%      |

暖房、ボイラー、給湯用燃料として使用されています。

最も多く使用しているのは臨海スポーツセンターで、基準年度において使用量は全体の約96%を占めています。

令和元年度の灯油の使用による温室効果ガス排出量は、平成27年度と比較して8.67%の減少となっています。

減少の要因は、臨海スポーツセンターにおける温水プールの工事により使用できない期間があったことなどによるものです。

## オ 下水処理

部門別下水処理による温室効果ガス排出量

(単位:kg-CO2)

| 部 門   | 令和元年度     | 平成27年度<br>(基準年度) | 基準年度との<br>差 | 主な排出源          |
|-------|-----------|------------------|-------------|----------------|
| 都市建設部 | 379,481.2 | 368,447.0        | 11,034.2    | 終末処理場、東部浄化センター |
| 合計    | 379,481.2 | 368,447.0        | 11,034.2    | 増減率 +2.99%     |

令和元年度の下水処理による温室効果ガス排出量は、平成27年度と比較して2.99%の増加となっています。

袖ヶ浦駅海側地区の人口増加により、処理量が増加しているものと考えられます。

## カ ガソリン

部門別ガソリン使用による温室効果ガス排出量

(単位:kg-CO2)

| 部 門   | 令和元年度     | 平成27年度<br>(基準年度) | 基準年度との<br>差 | 主な排出源       |
|-------|-----------|------------------|-------------|-------------|
| 企画財政部 | 7,483.8   | 7,259.1          | 224.7       | 公用車         |
| 総務部   | 12,644.2  | 12,934.2         | -290.0      | 公用車         |
| 市民健康部 | 8,270.8   | 56,405.4         | -48,134.6   | 公用車         |
| 福祉部   | 19,079.7  | 17,300.1         | 1,779.6     | 公用車         |
| 環境経済部 | 22,272.2  | 19,629.1         | 2,643.1     | 公用車         |
| 都市建設部 | 27,930.8  | 22,218.8         | 5,712.0     | 公用車         |
| 教育部   | 18,179.8  | 19,487.7         | -1,307.9    | 公用車、総合運動場   |
| 水道局   | 0.0       | 5,037.0          | -5,037.0    | 公用車         |
| 消防機関  | 55,310.8  | 52,889.9         | 2,420.9     | 公用車         |
| その他   | 2,823.0   | 2,908.3          | -85.3       | 公用車         |
| 合計    | 173,995.1 | 216,069.6        | -42,074.5   | 増減率 -19.47% |

主に公用車の燃料に使用されています。

令和元年度のガソリンの使用による温室効果ガス排出量は平成27年度と比較して19.47%の減少となっていますが、市民健康部の健康づくり支援センターのバスや水道局の公用車が市の管理から外れたことが大きな要因であり、健康づくり支援センターの公用車を除くと、2.69%の増加となります。



## キ 軽油

部門別軽油使用による温室効果ガス排出量

(単位:kg-CO2)

| 部 門    | 令和元年度     | 平成27年度<br>(基準年度) | 基準年度との<br>差 | 主な排出源        |
|--------|-----------|------------------|-------------|--------------|
| 総務部    | 27,941.9  | 31,021.4         | -3,079.5    | 公用車、庁舎       |
| 福祉部    | 28,031.0  | 25,812.3         | 2,218.7     | 公用車          |
| 環境経済部  | 283.8     | 1,388.0          | -1,104.2    | 公用車、クリーンセンター |
| 都市建設部  | 1,307.5   | 5,183.9          | -3,876.4    | 公用車          |
| 教育部    | 42,259.4  | 42,978.9         | -719.5      | 公用車、総合運動場    |
| 水道局    | 0.0       | 3,351.4          | -3,351.4    | 公用車、浄水場、配水場  |
| 消防機関   | 44,175.1  | 37,411.3         | 6,763.8     | 公用車          |
| 合計     | 143,998.7 | 147,147.2        | -3,148.5    | 増減率 -2.14%   |
| ※公用車合計 | 136,512.0 | 142,936.8        | -6,424.8    | 増減率 -4.49%   |

※公用車に使用した軽油による温室効果ガス排出量の合計

主に公用車の燃料として使用され、一部機械の燃料に使用されています。

令和元年度の軽油の使用による温室効果ガス排出量は、平成27年度と比較して2.14%の減少となっています。

なお、公用車に使用した軽油による温室効果ガス排出量は、4.49%減少しています。

総務部や都市建設部において、バス等の大型車両の燃料使用量が減少したことや、水道局の公用車が市の管理ではなくなったことにより、軽油の使用量が減少したものと考えられます。

## ク LPG

部門別LPG使用による温室効果ガス排出量

(単位:kg-CO2)

| 部 門   | 令和元年度    | 平成27年度<br>(基準年度) | 基準年度との<br>差 | 主な排出源           |
|-------|----------|------------------|-------------|-----------------|
| 総務部   | 70.8     | 1,061.4          | -990.6      | 庁舎              |
| 福祉部   | 21,060.3 | 20,957.4         | 102.9       | 保育所、福祉作業所、児童クラブ |
| 環境経済部 | 948.0    | 1,554.0          | -606.0      | ゆりの里            |
| 都市建設部 | 210.0    | 268.2            | -58.2       | 終末処理場           |
| 教育部   | 12,076.2 | 35,842.2         | -23,766.0   | 小中学校、公民館        |
| 消防機関  | 21,473.4 | 21,968.4         | -495.0      | 消防署             |
| 合計    | 55,838.7 | 81,651.6         | -25,812.9   | 増減率 -31.61%     |

暖房、給湯用燃料として使用されています。

令和元年度のLPGの使用による温室効果ガス排出量は、平成27年度と比較して31.61%の減少となっています。

各施設において、LPGから都市ガスに燃料を転換したことや、暖冬の影響により小中学校における暖房の使用量の減少が要因と考えられます。

## ケ A重油

部門別A重油使用による温室効果ガス排出量

(単位:kg-CO<sub>2</sub>)

| 部 門   | 令和元年度    | 平成27年度<br>(基準年度) | 基準年度との<br>差 | 主な排出源           |
|-------|----------|------------------|-------------|-----------------|
| 都市建設部 | 34,986.1 | 33,441.4         | 1,544.7     | 奈良輪雨水ポンプ場、終末処理場 |
| 合計    | 34,986.1 | 33,441.4         | 1,544.7     | 増減率 +4.62%      |

定置ディーゼル機関として自家発電に使用されております。

令和元年度のA重油の使用による温室効果ガス排出量は、平成27年度と比較して4.62%増加しています。その要因として、台風、大雨等の災害に伴い、排水を行うため、奈良輪雨水ポンプ場における雨水エンジンポンプを稼働させたことが挙げられます。

## 4 部門別温室効果ガスの排出量

温室効果ガスの排出量の部門別の増減は次のとおりです。

行政組織の改正に伴い、一部の施設及び公用車に異動がありましたが、基準年度と整合性を図るため新所管に統一して計上しています。

### 部門別温室効果ガス排出量

(単位:kg-CO<sub>2</sub>)

| 部 門        | 令和元年度       | 平成27年度<br>(基準年度) | 基準年度<br>に対する増減 | 増減率(%)  |
|------------|-------------|------------------|----------------|---------|
| (1)企画財政部 ※ | 7,808.0     | 7,626.6          | 181.4          | 2.38    |
| (2)総務部     | 644,806.8   | 672,097.6        | -27,290.8      | -4.06   |
| (3)市民健康部   | 950,740.5   | 998,966.6        | -48,226.1      | -4.83   |
| (4)福祉部     | 299,952.2   | 295,043.4        | 4,908.8        | 1.66    |
| (5)環境経済部   | 595,703.1   | 610,916.9        | -15,213.8      | -2.49   |
| (6)都市建設部   | 2,485,337.6 | 2,363,512.5      | 121,825.1      | 5.15    |
| (7)教育部     | 3,673,244.2 | 3,537,588.6      | 135,655.6      | 3.83    |
| (8)水道局     | 0.0         | 1,348,646.9      | -1,348,646.9   | -100.00 |
| (9)消防機関    | 337,040.3   | 306,778.9        | 30,261.4       | 9.86    |
| (10)その他 ※  | 3,006.2     | 3,070.8          | -64.6          | -2.10   |
| 合計         | 8,997,638.9 | 10,144,248.8     | -1,146,609.9   | -11.30  |

※排出施設が公用車だけの部門

全体として、排出量が大幅に減少しています。主な要因として、水道事業の統合により、水道局が本計画の対象施設ではなくなったことが挙げられます。一方、企画財政部、福祉部、都市建設部、教育部、消防機関では増加しています。

### 公用車の運行による温室効果ガス排出量

(単位:kg-CO<sub>2</sub>)

| 部 門                | 令和元年度     | 平成27年度<br>(基準年度) | 基準年度に<br>対する増減 | 増減率(%) |
|--------------------|-----------|------------------|----------------|--------|
| 公用車燃料(ガソリン・軽油)     | 303,552.8 | 357,620.2        | -54,067.4      | -15.12 |
| 走行距離等による排出         | 8,207.2   | 9,326.2          | -1,119.0       | -12.00 |
| 公用車関係排出量合計         | 311,760.0 | 366,946.4        | -55,186.4      | -15.04 |
| (参考)総走行距離(km)      | 982,759.0 | 1,034,668.5      | -51,909.5      | -5.02  |
| 排出量(健康づくり支援センター除く) | 311,760.0 | 320,321.4        | -8,561.4       | -2.67  |
| 走行距離(同上)(km)       | 982,759.0 | 961,132.5        | 21,626.5       | 2.25   |

一般車両は管理部署を越えて使用されることにより、部門ごとの取り組みと結果が必ずしも一致しないことから、車両の運行に関わるもの全体で比較すると、基準年度に対し15.04%減少しています。

排出量減少の大きな要因は、ガソリンの排出要因で記載したとおり、健康づくり支援センターのバスが市の管理から外れたことによるものです。

### (1) 企画財政部

| 項 目         | 令和元年度    |          | 平成27年度<br>(基準年度) |          | 基準年度に対する増減 |          |        |
|-------------|----------|----------|------------------|----------|------------|----------|--------|
|             | 使用量      | (kg-CO2) | 使用量              | (kg-CO2) | 使用量        | (kg-CO2) | 増減率(%) |
| ガソリンの使用(L)  | 3,225.8  | 7,483.8  | 3,128.9          | 7,259.1  | 96.9       | 224.7    | 3.10   |
| 自動車走行(km)   | 46,227.0 | 324.2    | 43,485.0         | 367.5    | 2,742.0    | -43.3    | -11.78 |
| 温室効果ガス排出量合計 |          | 7,808.0  |                  | 7,626.6  |            | 181.4    | 2.38   |

排出施設が公用車のみの部門です。燃料使用量と走行距離は、いずれも増加しています。

部全体の温室効果ガス排出量は、基準年度に対し2.38%増加しています。

### (2) 総務部

| 項 目                     | 令和元年度       |           | 平成27年度<br>(基準年度) |           | 基準年度に対する増減 |           |        |
|-------------------------|-------------|-----------|------------------|-----------|------------|-----------|--------|
|                         | 使用量         | (kg-CO2)  | 使用量              | (kg-CO2)  | 使用量        | (kg-CO2)  | 増減率(%) |
| ガソリンの使用 (L)             | 5,450.1     | 12,644.2  | 5,575.1          | 12,934.2  | -125.0     | -290.0    | -2.24  |
| 灯油の使用 (L)               | 0.0         | 0.0       | 0.0              | 0.0       | 0.0        | 0.0       | 0.0    |
| 軽油の使用 (L)               | 10,830.2    | 27,941.9  | 12,023.8         | 31,021.4  | -1,193.6   | -3,079.5  | -9.93  |
| LPGの使用 (kg)             | 23.6        | 70.8      | 353.8            | 1,061.4   | -330.2     | -990.6    | -93.33 |
| 都市ガスの使用 (m3)            | 22,411.0    | 49,976.5  | 29,945.0         | 66,777.4  | -7,534.0   | -16,800.9 | -25.16 |
| 電気の使用 (kWh)             | 1,096,092.0 | 553,526.5 | 1,108,132.0      | 559,606.7 | -12,040.0  | -6,080.2  | -1.09  |
| 自動車走行 (km)              | 83,303.0    | 646.9     | 95,654.0         | 696.5     | -12,351.0  | -49.6     | -7.12  |
| ディーゼル機関(定置式)<br>の使用 (L) | 0.0         | 0.0       | 0.0              | 0.0       | 0.0        | 0.0       | 0.0    |
| 温室効果ガス排出量合計             |             | 644,806.8 |                  | 672,097.6 |            | -27,290.8 | -4.06  |

主な排出施設は市庁舎で、市庁舎の電気使用による排出が 549,799.1 kg-CO2 であり、部全体の排出量の8割以上を占めています。

部全体の温室効果ガス排出量は、基準年度に対し4.06%減少しています。

### (3) 市民健康部

| 項 目          | 令和元年度       |           | 平成27年度<br>(基準年度) |           | 基準年度に対する増減 |           |        |
|--------------|-------------|-----------|------------------|-----------|------------|-----------|--------|
|              | 使用量         | (kg-CO2)  | 使用量              | (kg-CO2)  | 使用量        | (kg-CO2)  | 増減率(%) |
| ガソリンの使用 (L)  | 3,565.0     | 8,270.8   | 24,312.7         | 56,405.4  | -20,747.7  | -48,134.6 | -85.34 |
| 都市ガスの使用 (m3) | 5,121.0     | 11,419.8  | 3,438.0          | 7,666.7   | 1,683.0    | 3,753.1   | 48.95  |
| 電気の使用 (kWh)  | 1,842,742.2 | 930,584.8 | 1,848,879.0      | 933,683.9 | -6,136.8   | -3,099.1  | -0.33  |
| 自動車走行 (km)   | 45,884.0    | 465.1     | 124,021.0        | 1,210.6   | -78,137.0  | -745.5    | -61.58 |
| 温室効果ガス排出量合計  |             | 950,740.5 |                  | 998,966.6 |            | -48,226.1 | -4.83  |

主な排出施設は、健康づくり支援センター（約６３％）、防犯灯（約３５％）で、健康づくり支援センターの電気使用量が増えています。健康づくり支援センターは、平成２８年度から営業時間を拡大したことにより、温室効果ガス排出量が基準年度から０．４９％増加しています。

防犯灯は、ＬＥＤ化を行ったことにより１．７８％減少しています。

部全体の温室効果ガス排出量は、基準年度に対し４．８３％減少しています。

#### （４）福祉部

| 項 目          | 令和元年度     |           | 平成27年度<br>(基準年度) |           | 基準年度に対する増減 |          |        |
|--------------|-----------|-----------|------------------|-----------|------------|----------|--------|
|              | 使用量       | (kg-CO2)  | 使用量              | (kg-CO2)  | 使用量        | (kg-CO2) | 増減率(%) |
| ガソリンの使用 (L)  | 8,224.0   | 19,079.7  | 7,456.9          | 17,300.1  | 767.1      | 1,779.6  | 10.29  |
| 灯油の使用 (L)    | 5,849.0   | 14,564.0  | 7,262.9          | 18,084.6  | -1,413.9   | -3,520.6 | -19.47 |
| 軽油の使用 (L)    | 10,864.7  | 28,031.0  | 10,004.8         | 25,812.3  | 859.9      | 2,218.7  | 8.60   |
| LPG の使用 (kg) | 7,020.1   | 21,060.3  | 6,985.8          | 20,957.4  | 34.3       | 102.9    | 0.49   |
| 都市ガスの使用 (m3) | 1,873.0   | 4,176.8   | 1,928.0          | 4,299.4   | -55.0      | -122.6   | -2.85  |
| 電気の使用 (kWh)  | 419,259.0 | 211,726.0 | 410,650.0        | 207,378.4 | 8,609.0    | 4,347.6  | 2.10   |
| 自動車走行 (km)   | 184,383.0 | 1,314.4   | 165,117.0        | 1,211.2   | 19,266.0   | 103.2    | 8.52   |
| 温室効果ガス排出量合計  |           | 299,952.2 |                  | 295,043.4 |            | 4,908.8  | 1.66   |

主な排出施設は、保育所（約６２％ 公用車含む）です。保育所全体では減少していますが、放課後児童クラブ等の施設で増加しており、部全体の温室効果ガス排出量は、基準年度に対し１．６６％増加しています。

#### （５）環境経済部

| 項 目          | 令和元年度       |           | 平成27年度<br>(基準年度) |           | 基準年度に対する増減 |           |        |
|--------------|-------------|-----------|------------------|-----------|------------|-----------|--------|
|              | 使用量         | (kg-CO2)  | 使用量              | (kg-CO2)  | 使用量        | (kg-CO2)  | 増減率(%) |
| ガソリンの使用 (L)  | 9,600.1     | 22,272.2  | 8,460.8          | 19,629.1  | 1,139.3    | 2,643.1   | 13.47  |
| 灯油の使用 (L)    | 155.1       | 386.2     | 0.0              | 0.0       | 155.1      | 386.2     | 皆増     |
| 軽油の使用 (L)    | 110.0       | 283.8     | 538.0            | 1,388.0   | -428.0     | -1,104.2  | -79.55 |
| LPG の使用 (kg) | 316.0       | 948.0     | 518.0            | 1,554.0   | -202.0     | -606.0    | -39.00 |
| 都市ガスの使用 (m3) | 85.0        | 189.6     | 113.0            | 252.0     | -28.0      | -62.4     | -24.76 |
| 電気の使用 (kWh)  | 1,129,823.0 | 570,560.8 | 1,162,687.0      | 587,156.9 | -32,864.0  | -16,596.1 | -2.83  |
| 自動車走行 (km)   | 115,636.0   | 1,062.5   | 108,096.0        | 936.9     | 7,540.0    | 125.6     | 13.41  |
| 温室効果ガス排出量合計  |             | 595,703.1 |                  | 610,916.9 |            | -15,213.8 | -2.49  |

主な排出施設はごみ処理施設（約４５％）及びし尿処理施設（約２８％）、ゆりの里（約１４％）です。

令和元年度における排出量は、ごみ処理施設は１．２４％、し尿処理施設は２．９０％減少し、ゆりの里では売り場照明のＬＥＤ化により７．９６％減少しています。

部全体の温室効果ガス排出量は、基準年度に対し２．４９％減少しています。

## （６）都市建設部

| 項 目                     | 令和元年度       |             | 平成27年度<br>(基準年度) |             | 基準年度に対する増減 |           |         |
|-------------------------|-------------|-------------|------------------|-------------|------------|-----------|---------|
|                         | 使用量         | (kg-CO2)    | 使用量              | (kg-CO2)    | 使用量        | (kg-CO2)  | 増減率(%)  |
| ガソリンの使用 (L)             | 12,039.1    | 27,930.8    | 9,577.1          | 22,218.8    | 2,462.0    | 5,712.0   | 25.71   |
| 灯油の使用 (L)               | 0.0         | 0.0         | 60.0             | 149.4       | -60.0      | -149.4    | -100.00 |
| 軽油の使用 (L)               | 506.8       | 1,307.5     | 2,009.3          | 5,183.9     | -1,502.5   | -3,876.4  | -74.78  |
| A重油の使用 (L)              | 12,910.0    | 34,986.1    | 12,340.0         | 33,441.4    | 570.0      | 1,544.7   | 4.62    |
| LPGの使用 (kg)             | 70.0        | 210.0       | 89.4             | 268.2       | -19.4      | -58.2     | -21.70  |
| 電気の使用 (kWh)             | 4,042,985.6 | 2,040,486.7 | 3,826,691.4      | 1,932,479.1 | 216,294.2  | 108,007.6 | 5.59    |
| 自動車走行 (km)              | 103,124.0   | 900.0       | 110,976.0        | 1,082.0     | -7,852.0   | -182.0    | -16.82  |
| 下水処理量 (m3)              | 5,446,056.0 | 379,481.2   | 5,287,701.0      | 368,447.0   | 158,355.0  | 11,034.2  | 2.99    |
| ディーゼル機関(定置式)<br>の使用 (L) | 1,790.0     | 35.3        | 12,340.0         | 242.7       | -10,550.0  | -207.4    | -85.46  |
| 温室効果ガス排出量合計             |             | 2,485,337.6 |                  | 2,363,512.5 |            | 121,825.1 | 5.15    |

主な排出施設は終末処理場（約６９％）、東部浄化センター（約８％）、道路照明灯（約５％）です。

ガソリン、A重油、電気使用量や下水処理量が増加しています。電気使用量については、部門内の施設の多くは減少傾向にありますが、袖ヶ浦公園管理事務所、長浦駅臨海駐車場、袖ヶ浦駅前第１駐車場、マンホールポンプ（集排）、道路照明灯、水門などが増加しており、部全体の温室効果ガス排出量としては基準年度に対し５．１５％増加しています。

このうち、電気使用量が最も増加している道路照明灯については、アクアライン連絡道の立体交差において通常照明からトンネル照明に変更し点灯時間を拡大したことや、袖ヶ浦駅海側において街路灯を新設したことなどが理由となります。

また、終末処理場については、人口増による下水処理量の増加に伴い温室効果ガス排出量が増加しています。

## (7) 教育部

| 項 目          | 令和元年度       |             | 平成27年度<br>(基準年度) |             | 基準年度に対する増減 |           |        |
|--------------|-------------|-------------|------------------|-------------|------------|-----------|--------|
|              | 使用量         | (kg-CO2)    | 使用量              | (kg-CO2)    | 使用量        | (kg-CO2)  | 増減率(%) |
| ガソリンの使用 (L)  | 7,836.1     | 18,179.8    | 8,399.9          | 19,487.7    | -563.8     | -1,307.9  | -6.71  |
| 灯油の使用 (L)    | 220,876.6   | 549,982.9   | 241,093.6        | 600,323.1   | -20,217.0  | -50,340.2 | -8.39  |
| 軽油の使用 (L)    | 16,379.6    | 42,259.4    | 16,658.5         | 42,978.9    | -278.9     | -719.5    | -1.67  |
| LPG の使用 (kg) | 4,025.4     | 12,076.2    | 11,947.4         | 35,842.2    | -7,922.0   | -23,766.0 | -66.31 |
| 都市ガスの使用 (m3) | 293,540.0   | 654,594.2   | 274,836.0        | 612,884.6   | 18,704.0   | 41,709.6  | 6.81   |
| 電気の使用 (kWh)  | 4,741,843.0 | 2,394,630.8 | 4,405,022.0      | 2,224,536.0 | 336,821.0  | 170,094.8 | 7.65   |
| 自動車走行 (km)   | 188,340.0   | 1,520.9     | 193,178.0        | 1,536.1     | -4,838.0   | -15.2     | -0.99  |
| 温室効果ガス排出量合計  |             | 3,673,244.2 |                  | 3,537,588.6 |            | 135,655.6 | 3.83   |

排出量が最も多い部門であり、臨海スポーツセンターや学校給食センター、公民館や小中学校など、排出規模の大きい施設を多数管理しています。

項目別では、ガソリン、灯油、軽油、LPGの使用、自動車走行による排出が減少していますが、他の項目において増加しており、部全体の温室効果ガス排出量としては、基準年度に対し 3.83%増加しています。

公民館など、市民が多く集う場所において、主として夏季の電気使用量の増加が著しく、猛暑による影響が顕著に表れているものと考えられます。

## (8) 水道局

| 項 目                 | 令和元年度 |          | 平成27年度<br>(基準年度) |             | 基準年度に対する増減   |              |        |
|---------------------|-------|----------|------------------|-------------|--------------|--------------|--------|
|                     | 使用量   | (kg-CO2) | 使用量              | (kg-CO2)    | 使用量          | (kg-CO2)     | 増減率(%) |
| ガソリンの使用 (L)         | 0.0   | 0.0      | 2,171.1          | 5,037.0     | -2,171.1     | -5,037.0     | -100.0 |
| 軽油の使用 (L)           | 0.0   | 0.0      | 1,299.0          | 3,351.4     | -1,299.0     | -3,351.4     | -100.0 |
| 電気の使用 (kWh)         | 0.0   | 0.0      | 2,653,015.0      | 1,339,957.4 | -2,653,015.0 | -1,339,957.4 | -100.0 |
| 自動車走行 (km)          | 0.0   | 0.0      | 32,181.0         | 292.6       | -32,181.0    | -292.6       | -100.0 |
| ディーゼル機関(定置式)の使用 (L) | 0.0   | 0.0      | 439.0            | 8.5         | -439.0       | -8.5         | 皆減     |
| 温室効果ガス排出量合計         | 0.0   | 0.0      |                  | 1,348,646.9 |              | -1,348,646.9 | -100.0 |

水道事業の統合により、本計画における対象施設ではなくなったことから、温室効果ガス排出量は、基準年度に対し 100%減少しています。

## (9) 消防機関

| 項 目                 | 令和元年度     |           | 平成27年度<br>(基準年度) |           | 基準年度に対する増減 |          |        |
|---------------------|-----------|-----------|------------------|-----------|------------|----------|--------|
|                     | 使用量       | (kg-CO2)  | 使用量              | (kg-CO2)  | 使用量        | (kg-CO2) | 増減率(%) |
| ガソリンの使用 (L)         | 23,840.9  | 55,310.8  | 22,797.4         | 52,889.9  | 1,043.5    | 2,420.9  | 4.58   |
| 軽油の使用 (L)           | 17,122.1  | 44,175.1  | 14,500.5         | 37,411.3  | 2,621.6    | 6,763.8  | 18.08  |
| LPGの使用 (kg)         | 7,157.8   | 21,473.4  | 7,322.8          | 21,968.4  | -165.0     | -495.0   | -2.25  |
| 都市ガスの使用 (m3)        | 6,426.0   | 14,330.0  | 5,256.0          | 11,720.9  | 1,170.0    | 2,609.1  | 22.26  |
| 電気の使用 (kWh)         | 395,915.0 | 199,937.0 | 358,333.0        | 180,958.1 | 37,582.0   | 18,978.9 | 10.49  |
| 自動車走行 (km)          | 152,035.0 | 1,790.0   | 145,800.5        | 1,830.3   | 6,234.5    | -40.3    | -2.20  |
| ディーゼル機関(定置式)の使用 (L) | 1,257.8   | 24.0      | 0.0              | 0.0       | 1,257.8    | 24.0     | 皆増     |
| 温室効果ガス排出量合計         |           | 337,040.3 |                  | 306,778.9 |            | 30,261.4 | 9.86   |

各消防署及び公用車により排出します。

LPGの使用、自動車走行を除く項目の全てにおいて排出量が増加しており、全体で基準年度に対し9.86%増加しています。

## (10) その他(議会事務局、農業委員会事務局ほか)

| 項 目         | 令和元年度    |          | 平成27年度<br>(基準年度) |          | 基準年度に対する増減 |          |        |
|-------------|----------|----------|------------------|----------|------------|----------|--------|
|             | 使用量      | (kg-CO2) | 使用量              | (kg-CO2) | 使用量        | (kg-CO2) | 増減率(%) |
| ガソリンの使用(L)  | 1,216.8  | 2,823.0  | 1,253.6          | 2,908.3  | -36.8      | -85.3    | -2.93  |
| 自動車走行(km)   | 14,581.0 | 183.2    | 16,160.0         | 162.5    | -1,579.0   | 20.7     | 12.74  |
| 温室効果ガス排出量合計 |          | 3,006.2  |                  | 3,070.8  |            | -64.6    | -2.10  |

排出施設が公用車のみの部門です。燃料使用量、走行距離ともに排出量が減少しています。

部門全体の温室効果ガス排出量は、基準年度に対し2.10%減少しています。



## 5 評価

令和元年度は、基準年度と比較して電気使用量が大幅に減少しました。主な要因としては、水道事業が統合されたことなどに伴い、本計画の対象施設が大幅に減ったことによるものです。

令和元年度は、基準年度と比較して台風、大雨等の影響により、一部の施設において空調機で使用する電力が増加しています。空調や照明の使用は、来場者、利用者へ配慮するために不可欠なものであるため、必要な時に、必要な量を使用することを意識して管理する必要があります。

また、公用車の運行については、大型自動車よりも温室効果ガスの排出量が少ない小型自動車を優先して使用していることなどから、走行距離は増加していますが、排出量は減少し、単位走行距離当たりの排出量も減少しています。引き続き、職員がエコドライブを意識して公用車を使用するとともに、公用車の更新の際は、優先的に低排出ガス車を選択する必要があります。

### (1) 企画財政部

公用車の運行については、燃料使用量と走行距離は、いずれも増加しています。

消費燃費は、ドライバーの運転方法にも大きく影響を受けることから、今後も引き続きエコドライブを意識した公用車の使用により排出量の削減を図ることが必要です。

### (2) 総務部

庁舎の電気使用による排出が大半を占めています。

基準年度と比較して厳しい温度環境にもかかわらず、庁舎内の温室効果ガス排出量を3.87%減少させることができたのは、職員の普段からの省エネルギー意識によるものであると考えられます。

今後も、引き続き施設の適正管理に努め、排出量の削減を図ることが必要です。

また、職員においても引き続き節電を意識して業務に取り掛かり、昼休みや業務終了後は速やかに消灯し帰庁するよう意識し、やむを得ず残業する際もフロアの不要な明かりを消灯するなどの取り組みを実践することが重要です。

### (3) 市民健康部

健康づくり支援センターの営業時間拡大により電気使用量が増加しているため、今後はこれまで以上に節電を意識し、施設の適正管理に努め、排出量の削減を図ることが必要です。

なお、令和元年度に、全ての防犯灯をLED化したことから、今後は温室効果ガス排出量の減少が期待されます。

### (4) 福祉部

基準年度と比較して厳しい温度環境であり、温室効果ガスの排出量が増加していますが、そのような中、保育所においては、排出量が減少した保育所が複数あり、各保育所の合計では基準年度から減少しています。

今後も、利用者の健康、安全に配慮しつつ、引き続き施設の適正管理に努め、排出量の削減を図ることが重要です。

## **(5) 環境経済部**

排出量の多いごみ処理施設やゆりの里などにおいて、排出量が減少しています。

ごみ処理施設は、令和元年度に、粗大ごみ破砕機やクレーンの更新工事を行ったことにより、当該工事の期間において機器の稼働がなかったことや、更新によって機器の性能が向上したことにより、ごみ処理施設の消費電力が抑えられたと考えられます。

また、ゆりの里では、改修に伴う売り場照明のＬＥＤ化により、排出量が減少しています。

今後も引き続き、施設の適正管理に努め、排出量の削減を図ることが必要です。

## **(6) 都市建設部**

教育部に次いで多くの施設を管理しており、そのうち半数以上の施設において排出量が削減されていましたが、袖ヶ浦公園管理事務所、長浦駅臨海駐車場、袖ヶ浦駅前第１駐車場、マンホールポンプ（集排）、道路照明灯、水門の排出量が特に増加していました。市民生活において重要な施設のため、節電が困難な場合は、設備の改修、更新等のハード面の対策も検討する必要があります。

また、終末処理場においては、袖ヶ浦駅海側地区の人口増加に伴い、年々接続人口が増加していることから、今後、下水処理量及び処理に伴う電気使用量が増加することが予想されます。

## **(7) 教育部**

最も多くの施設を管理しており、そのほとんどが学校、公民館など多くの市民が利用する施設となっています。このことから、厳しい温度環境に対応するため、空調機を多く使用したことにより、電気の使用が増加したものと考えられます。

令和元年度は、児童生徒の熱中症予防と良好な学習環境の充実を図るため、市内小中学校の普通教室等にエアコンを設置して稼働したことなどにより、排出量が増加しています。

今後も、市民サービスを行う上で支障の無い範囲で施設の適正管理に努め、排出量の削減を図ることが必要です。

## **(8) 水道局**

平成３１年４月に水道事業をかずさ水道広域連合企業団へ統合したことにより、本計画における対象施設ではなくなりました。

## **(9) 消防機関**

都市ガスや軽油の使用量を中心に、排出量全体が大幅に増加しています。

台風等の影響により、平川消防署等が停電となる中で発電機を長期間稼働させたことなどが要因であると考えられます。

今後は、施設の適正管理に努め、排出量の削減を図ることが必要です。

## **(10) その他（議会事務局、農業委員会事務局ほか）**

公用車の運行については、燃料使用量、走行距離ともに減少しています。

今後も引き続き、エコドライブを意識した公用車の使用により削減を図ることが必要です。

## 6 おわりに

今年度は、第四次地球温暖化対策実行計画（以下「第四次計画」）の３年目にあたり、令和３年度時点で基準年度である平成２７年度比マイナス６％という目標に対し、マイナス１１．３０％となりました。主な要因としては、水道事業の統合があったことや、市庁舎の節電に努めたこと、防犯灯をＬＥＤ化したこと、ガソリン・灯油の使用量を削減したことなどが挙げられます。計画期間において、初めて目標を達成する結果となりましたが、平成２７年度に水道事業がなかったとした場合には、平成２７年度と令和元年度を比較すると、２．３０％増加となっています。今後においても、引き続き温室効果ガス排出量の削減を目指すためには、より一層エネルギーの使用を削減する必要があります。

温度環境が厳しさを増す中、今後も各部署において、節電への取り組みを実施するとともに、各施設における照明や老朽化した機器の更新などの際に、省エネルギー性能の高い設備や機器の購入を行うことや、庁舎の増改築の際は再生可能エネルギーを導入することにより、温室効果ガス排出量の削減を図ることが必要です。

第四次計画の基準年度である平成２７年度以降、ソフト面では袖ヶ浦駅海側地区の人口増加や記録的な猛暑や台風の発生、ハード面では小中学校普通教室等へのエアコン導入、水道事業の統合など、様々な状況の変化が起きている。

また、国では地球温暖化による様々な気候変動に対応するため、平成３０年１２月に「気候変動適応法」が施行され、千葉県においても平成３０年３月に「千葉県の気候変動影響と適応の取組方針」を策定しており、本市では、令和２年３月に「第２次袖ヶ浦市環境基本計画」を策定しました。この計画の基本施策として、「気候変動による影響への適応策の推進」を掲げており、気候変動適応計画の策定などに取り組んでいきます。

温室効果ガス排出量を削減するという目標を達成するための一つの方法として、ＣＯＯＬ ＣＨＯＩＣＥ（クールチョイス）という考え方があります。これは、省エネルギーや低炭素型の製品、サービス、行動等により温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す運動をいいます。製品の買い換え、サービスの利用、ライフスタイルの選択等、私たちにできる行動を日ごろから意識することが必要になっています。

また、市施設において最も温室効果ガスを排出する終末処理場においては、袖ヶ浦駅海側地区の人口が増え続けており、下水道接続人口が増加する中、温室効果ガス排出量を低減することが課題であり、増加した場合の市施設全体に及ぼす影響が大きいものとなっています。

排出割合が大きく、かつ排出量が不安定な施設を全ての施設と同一の枠組みで評価することは、その他の施設の取組成果が見えづらくなるといった支障が生じることから、今後は、市役所全体で単一の目標を設定するのではなく、それぞれの特性に合わせ、個々に目標を設定し、取り組むといった計画づくりを検討することが必要となってきています。

＜対象施設一覧＞

令和2年3月

| 部等名   | 課室等名     | 対象施設等        | 部等名   | 課室等名    | 対象施設等        |
|-------|----------|--------------|-------|---------|--------------|
| 企画財政部 | 企画課      | 企画課          | 福祉部   | 保育課     | 福王台保育所       |
|       | 財政課      | 財政課          |       |         | 根形保育所        |
|       | 課税課      | 課税課          |       |         | 久保田保育所       |
|       | 納税課      | 納税課          |       |         | そでがうらこども館    |
|       | 秘書広報課    | 秘書広報課        |       | 子育て支援課  | 子育て支援課       |
| 総務部   | 総務課      | 総務課          |       |         | 平岡放課後児童クラブ   |
|       | 危機管理課    | 危機管理課        |       |         | 長浦第一放課後児童クラブ |
|       |          | 防災行政無線       |       |         | 長浦第二放課後児童クラブ |
|       |          | 備蓄倉庫         |       |         | 代宿児童館        |
|       | 行政管理課    | 行政管理課        | 環境経済部 | 環境管理課   | 環境管理課        |
|       | 管財契約課    | 管財契約課        |       |         | 袖ヶ浦市営墓地公園    |
|       |          | 庁舎           |       |         | 東横田駅構内トイレ    |
|       | 資産管理課 ◎  | 資産管理課        |       |         | 市内各大気測定局     |
| 市民健康部 | 保険年金課    | 保険年金課        |       | 廃棄物対策課  | 廃棄物対策課       |
|       | 市民活動支援課  | 市民活動支援課      |       |         | ごみ処理施設       |
|       |          | 防犯灯          |       |         | し尿処理施設       |
|       | 市民課      | 市民課          |       | 農林振興課   | 農林振興課        |
|       | 平川行政センター | 平川行政センター     |       |         | 農業センター       |
|       | 長浦行政センター | 長浦行政センター     |       |         | ゆりの里         |
|       | 健康推進課    | 健康推進課        |       |         | 広域農道街路灯      |
|       |          | 保健センター       |       |         | ひらおかの里農村公園   |
|       |          | 健康づくり支援センター  |       |         | 藤井野里堰農村公園    |
| 福祉部   | 地域福祉課    | 地域福祉課        |       |         | 光福堰          |
|       |          | 社会福祉センター     |       | 商工観光課   | 商工観光課        |
|       | 障がい者支援課  | 障がい者支援課      | 都市建設部 | 都市整備課 ◎ | 都市整備課        |
|       |          | 福祉作業所第1うぐいす園 |       |         | 袖ヶ浦公園管理事務所   |
|       |          | 福祉作業所第2うぐいす園 |       |         | 百目木公園管理事務所   |
|       | 介護保険課    | 介護保険課        |       |         | 新堰公園管理事務所    |
|       | 高齢者支援課   | 高齢者支援課       |       |         | 街区公園合計       |
|       |          | 老人福祉会館       |       |         | 長浦駅臨海駐車場     |
|       | 保育課      | 保育課          |       |         | 長浦駅北口駐車場     |
|       |          | 平川保育所        |       |         | 袖ヶ浦駅前第1駐車場   |
|       |          | 吉野田保育所       |       |         | 袖ヶ浦駅前第2駐車場   |

| 部等名   | 課室等名    | 対象施設等        | 部等名       | 課室等名       | 対象施設等       |
|-------|---------|--------------|-----------|------------|-------------|
| 都市建設部 | 都市整備課 ◎ | 袖ヶ浦バスターミナル   | 教育部       | 教育総務課 ◎    | 中川幼稚園       |
|       |         | 長浦駅南口駐輪場     |           | 学校教育課      | 学校教育課       |
|       |         | 長浦駅北口駐輪場     |           |            | 総合教育センター    |
|       |         | 袖ヶ浦駅南口第一駐輪場  |           |            | 学校給食センター    |
|       |         | 袖ヶ浦駅南口第二駐輪場  |           |            | バス(中川幼稚園)   |
|       |         | 袖ヶ浦駅北口駐輪場    |           | 生涯学習課      | 生涯学習課       |
|       |         | 横田駅前駐輪場      |           |            | 埋蔵文化財整理棟    |
|       |         | 市営住宅防犯灯      |           |            | 市民会館        |
|       | 下水対策課   | 下水対策課        |           |            | 平川公民館       |
|       |         | 袖ヶ浦終末処理場     |           |            | 富岡分館        |
|       |         | マンホールポンプ(下水) |           |            | 長浦公民館       |
|       |         | マンホールポンプ(集排) |           |            | 根形公民館       |
|       |         | 袖ヶ浦東部浄化センター  |           |            | 平岡公民館       |
|       |         | 奈良輪雨水ポンプ場    |           |            | 郷土博物館       |
|       | 土木管理課   | 土木管理課        |           |            | 中央図書館       |
|       |         | 補修員詰所        |           |            | 長浦おかのうえ図書館  |
|       |         | 道路照明灯        | 体育振興課     | 体育振興課      |             |
|       |         | 水門           |           |            | 総合運動場市営球場   |
|       |         | 蔵波調整池便所      |           |            | 総合運動場陸上競技場  |
| 教育部   | 土木建設課   | 土木建設課        |           |            | 総合運動場テニスコート |
|       |         |              |           |            | 臨海スポーツセンター  |
|       | 教育総務課   | 教育総務課        |           |            | のぞみ野サッカー場   |
|       |         | 長浦中学校        |           |            | 今井球場        |
|       |         | 昭和中学校        | 消防機関      | 中央消防署      | 中央消防署       |
|       |         | 蔵波中学校        |           | 長浦消防署      | 長浦消防署       |
|       |         | 根形中学校        |           | 平川消防署      | 平川消防署       |
|       |         | 平川中学校        |           | 予防課        | 予防課         |
|       |         | 長浦小学校        |           | 総務課        | 総務課         |
|       |         | 昭和小学校        |           |            | 分団詰所        |
|       |         | 蔵波小学校        | 会計室及び各事務局 | 会計室        | 会計室         |
|       |         | 奈良輪小学校       |           | 議会事務局      | 議会事務局       |
|       |         | 根形小学校        |           | 農業委員会事務局   | 農業委員会事務局    |
|       |         | 中川小学校        |           | 選挙管理委員会事務局 | 選挙管理委員会事務局  |
|       |         | 平岡小学校        |           | 監査委員事務局    | 監査委員事務局     |
|       |         | 幽谷分校         |           |            |             |

◎・・・組織改正により名称に変更があった課(施設の所属は新組織にて掲載)